

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和6年度第2回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	令和6年7月4日(木) 14時～16時		
開催場所	小金井市野川クリーンセンター		
出席者	委員	<出席者：11名> 渡辺会長・岡山委員・岸野委員・光明委員・橋爪委員・林委員・ 多田委員・清家委員・保谷委員・長友委員・石原委員 <欠席者：4名> 溝入委員・富永委員・北村委員・井上委員	
	事務局	今井ごみ対策課長・立崎減量推進係長・竹内清掃係長・高橋施設係 長・高花主任・菊地主事	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	1
会議次第	1 開 会 2 報 告 3 議 題 (1) 会長・副会長の選任 (2) その他 4 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>これより令和6年度第2回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。</p> <p>今回、委員改選により新たな任期の初回となるため、会長が選出されるまでの間、ごみ対策課長の今井が進行役を務めさせていただきます。</p> <p>本審議会の開催にあたっては、会長選出前のため市長名にて通知したが了承いただきたい。</p> <p>また、本来であれば、市長より直接委嘱状をお渡しさせていただくところだが公務により不在のため、机上での配付をもって交付に代えさせていただきますので、ご了承いただきたい。</p> <p>それでは、本日の進行及び配布資料についての確認をさせていただきます。</p>
<p>立崎減量推進係長</p>	<p>(配付資料確認)</p>
<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>委員改選後、初めての審議会となるので、委員の皆様にご自己紹介をお願いしたい。</p> <p>(委員自己紹介・事務局紹介)</p> <p>それでは、審議会会長を選出したい。まず、事務局から規程を説明させていただきます。</p> <p>(小金井市廃棄物減量等推進審議会規則 第3条第1項と第2項を説明)</p> <p>ただいまから小金井市廃棄物減量等推進審議会会長の互選を行う。挙手にて指名推薦をお願いしたい。</p>
<p>林委員</p>	<p>渡辺委員を推薦する。</p>
<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>他にいないようであれば、渡辺委員を会長に選出することによいか。</p> <p>(承認)</p>

	<p>それでは、ただいま選出された渡辺委員にご挨拶いただく。</p> <p>(新会長から挨拶)</p> <p>これより渡辺会長に進行をお願いします。</p>
渡辺会長	<p>それでは、引き続き副会長の互選を行う。互選の方法については、同じく挙手にて指名推薦で行いたい。</p>
石原委員	<p>岡山委員を推薦する。</p>
渡辺会長	<p>他にいないようであれば、岡山委員を副会長に選出すること でよいか。</p> <p>(承認)</p> <p>それでは、岡山副会長からご挨拶をいただく。</p> <p>(新副会長から挨拶)</p> <p>それでは、審議会の進行について事務局より説明をお願いします。</p>
立崎減量推進係長	<p>(小金井市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例第7条・規則・情報公開条例第5条第1項・小金井市市民参加条例及び会議録等について説明)</p>
渡辺会長	<p>事務局からの説明どおり、会議録については、今年度も発言者がわかる形での公開の取り扱いとする。議事を録音して、それを起こして記録するという形になるので、発言の前に自分の氏名を言っていたきたい。</p> <p>それでは、事務局より報告をお願いします。</p>
今井ごみ対策課長	<p>(「報告事項」について説明)</p>

高橋施設係長	(「報告事項」について説明)
渡辺会長	事務局からの説明に対して、意見・質問はあるか。
林委員	イトーヨーカ堂の廃食用油の回収ボックスの報告があったが、市として何か関与をしているのか。
今井ごみ対策課長	基本的には、東京都と株式会社イトーヨーカ堂との間で、SAF 燃料（持続可能な航空燃料）の調達に向けた事業を展開している。小金井市と株式会社イトーヨーカ堂は地域活性化包括連携協定を締結していることから、今回の実施について、市が周知広報等についての協力を行った。
石原委員	廃食用油が回収できる事業所を増やすために、ごみゼロ化推進会議の事業所部会の活動として、様々な店舗に話を伺いに行ってもよいか。
今井ごみ対策課長	賛同が得られるのであれば、回収拠点を作ることは良い話であるため、集めた後の適正な処理と、最終的にどうなるのかといったところについても、しっかりルートとして確立されるのであれば、ご相談に乗らせていただきたいと思います。しかし、回収場所はできたから後は行政でお願いする、となると非常に難しいので、事前に我々と調整していただきたい。
岡山副会長	回収場所は地下1階のサービスカウンターにあるということだが、どのように回収するのか。
今井ごみ対策課長	地下1階のサービスカウンターに、申し出ると無償でもらえる「専用回収ボトル」があり、基本的にはそれに廃食用油を入れて蓋を閉めた後、同じカウンターの横に置いてある回収ボックスの中に入れる。ある程度溜まったところで回収事業者がボックスごと回収し、新しいボックスが置かれるということを繰り返す形になると聞いている。
岸野委員	植物油や動物油などを一緒にいれても構わないのか。
今井ごみ対策課長	専用ボトルに入れていただければ大丈夫だが、あくまでも

岡山副会長	<p>「食用油」に限定している。</p> <p>必ずしも自宅で使用した油だけではなく、お中元やお歳暮でもらった油を使いきれず、消費期限が切れたものを抱えていることも多い。市報に載せるのであれば、専用容器のことだけではなく、未開封であればそのまま回収できると伝えようと、たくさん集まりやすいと思う。</p>
今井ごみ対策課長	<p>本来は専用ボトルで回収するところだが、ペットボトル容器に入っていればよい、ということがカウンター横の張り紙に書いてある。ただ、缶に入っているものはおそらく受け取ってもらえないのではないかと思う。</p>
岡山副会長	<p>今期の重要な業務の中に「一般廃棄物処理基本計画の策定」がある。これに合わせて災害廃棄物処理計画の改定はわかるが、食品ロス削減推進計画については、どの程度まで策定するのか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>食品ロスの削減の推進に関する法律第13条において、計画策定は市町村の努力義務となっているが、小金井市は策定しようと考えている。</p>
林委員	<p>委託事業者が各計画の原案を作成すると思うが、審議委員の目に触れて、次の審議会でコメントを集めて、その次に決定する、といったことが多かったので、できるだけ時間的な余裕をもって提案していただきたい。また、できるだけ原案をかみ砕いた上で提示いただきたい。誤字脱字のチェックも含め、改善いただけるようお願いする。</p>
岡山副会長	<p>清掃関連施設整備計画に携わっていたが、野川クリーンセンターにおいて、粗大ごみをリメイクして再販するようなスペースを作るということで承諾したように記憶している。</p> <p>しかし、できあがってみるとその場所にはスペースがなく、隣の部屋は少し似ているものの、機能としては違うようである。変わってしまったことの理由を伺いたい。</p>
今井ごみ対策課長	<p>粗大ごみとして出たリユース家具などを展示する場所とし</p>

	<p>て用意していたのは、研修室を出た通路脇のスペースに限られていた。実際に施設の運用を開始すると、例えば小学生が一学年3クラスで見学に来た場合は通路が人で溢れかえってしまい、通路脇にリユース家具を陳列すると大きな事故を招く恐れがあることから、スペースの活用は難しい状況だった。そのため、現行の運営体制では、そのスペースは施設見学者の動線として安全を確保させていただくことにした。</p> <p>また、リサイクル事業所を閉鎖した後のリユース事業の展開がかなり乏しくなることから、地域情報サイト「ジモティー」との連携協定を活用し、先方と調整の上、オンラインでのリユース品の引き渡しといった手法を構築したところである。</p> <p>施設の運用状況を踏まえた結果、現状となっているとご理解いただければと思う。</p> <p>以前は、ここでリユース事業を展開していこうということだった。ごみゼロ化推進会議で小平市の施設を見学したところ施設内で販売していたので、本市においても同様のイメージを持っていた。途中からジモティーの提案があり、面積制約があることもあって、徐々にここで販売するというイメージがなくなってきた。今はネット上での取引で落ち着いているが、確かに、当初のイメージは違った。</p>
林委員	
岡山副会長	<p>くるカメファクトリーになっているスペースに集めたものの中で、まだ使えそうなものをシルバー人材センターの方が集めて展示・販売するようなやり方をするものと思っていた。</p>
石原委員	<p>株式会社イトーヨーカ堂との地域活性化包括連携協定についてだが、全体の中で廃棄物に関する項目はあるのか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>地域のより一層の活性化に資する地域課題の解決に向け相互に取り組むこととして協定を締結したものである。</p>
渡辺会長	<p>廃棄物をもっと織り込んでと言えればできるという感じか。</p>

今井ごみ対策課長	相互に目的が一致できる取り組みがあれば、協力できるということである。
光明委員	市報にごみ処理費用が定期的に掲載されているが、ペットボトルの処理費用がプラスチックごみよりも高くなっていたのでよく読むと、各々の重量の単位が異なっていた。これでは誤解を招く可能性があるのでは、全部同じ単位での表記にしてもらいたい。市報7月15日号では是正していただけか。
今井ごみ対策課長	市報7月15日号は、全体の処理費に関するグラフと処理量に関するみの掲載となる。ご指摘のあった廃棄物会計・決算額の表記については、市報9月15日号以降に掲載することになるため、そこで対応させていただく。
岡山副会長	食品ロスを削減させるということで小金井市は「タベスケ」を実施しているが、今年度に入ってから、協力店や削減量は増えているのか。
今井ごみ対策課長	<p>市報7月15日号で、新しく追加になった4店舗をご紹介するが、このうち、2店舗でタベスケを活用していただくことになっており、すでに販売実績がある。</p> <p>各店舗で、定期的にはまだいかなくともタイミングがあればタベスケを使用いただいているので、昨年よりは量が伸びていることは間違いない。</p> <p>近隣自治体でもタベスケの活用を開始するということもあり、多数の自治体で同じアプリを使うことになると商圏が広がるため、そういったところの有効活用も図れる。アプリを見ていただいて、こんなお店もあるのだという発見をしていただければ理想だと思うので、そういった面でも、周知案内をして広げていきたいと考えている。</p>
渡辺会長	食品ロス削減推進計画では、食品ロスを減らすということだけを計画するのか。それとも、食品ロスには、何が食品ロスで何が食品ロスではないのか、という線引きが難しい場合があることから、生ごみ全体の有効利用のことも計画に盛り

<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>込むのか。</p> <p>まだ確定事項に至っていないが、昨年度、3市ごみ減量推進市民会議の発案で食品ロスに関する意識調査をWEB上で行い、市民・事業者・小売店それぞれの立場で取り組んでいくところが結果として示されているので、そういった内容を踏まえて計画体系づくりをさせていただければと考えている。</p>
<p>岡山副会長</p>	<p>食品ロス削減の推進に関する法律ではなく、食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律（食品リサイクル法）のスキームの中で言えば、多摩地域においては全般的に飲食店やスーパーなどから排出される食品廃棄物の大部分がリサイクルされている。だから、例えば「おから」のように、現在きちんとリサイクルされているのにも関わらず、「食品ロスだから排出しないように」というようなことにならないほうが良い。やはり、消費者が食品ロスを出さないような計画にしていく必要があると思う。</p>
<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>（「3市ごみ減量市民会議への委員の選任及び選出について」説明）</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>事務局の選出依頼について了承してよいか。</p> <p>（承認）</p> <p>それでは、岡山副会長に指名推薦していただく。</p>
<p>岡山副会長</p>	<p>まずは団体推薦からの2名について、これまでの取り組みの成果をご存じである消費者団体代表の清家委員と、ごみゼロ化推進員代表の石原委員を推薦したいがいかがか。</p> <p>（承認）</p> <p>次に、市民公募の方の中からの2名について、富永委員と光明委員を推薦したいがいかがか。富永委員は本日欠席しているが、内諾は得ているそうである。</p>

<p>渡辺会長</p>	<p>(承認)</p> <p>では、清家委員・石原委員・光明委員・富永委員を「3市ごみ減量推進市民会議」の市民委員として派遣することを了承する。各委員から一言願いたい。</p> <p>(各委員より挨拶)</p> <p>それでは、一般廃棄物処理基本計画等策定の今後の進め方について事務局に説明を求める。</p>
<p>立崎減量推進係長</p>	<p>(「一般廃棄物処理基本計画等策定に係るスケジュール案」について説明)</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>ワークショップは、どういう人を対象にして、どういう位置付けで行う予定なのか。</p>
<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>正式な契約締結をしていないため業務内容を確定できていない。プロポーザルで提案いただいている内容では、小・中学生向けと成人向けの2通りの案を考えていただけるようである。もう少し仕様を固めて上で、皆様にお知らせしたいと考えている。</p>
<p>林委員</p>	<p>組成分析がかなり先になるが、そのための準備や実施方法などの検討する必要があるということか。</p>
<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>おそらく目標や人口推計・社会動向などをデータとして把握した上で行うということだと思う。組成分析は「排出量原単位」を押さえる重要なポイントであり、それが人口動態によってどう変わっていくのかを分析した上で、計画を作っていくものと考えている。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>組成分析の結果が出てから、どこに焦点当てるかといったところもあると思う。準備はそれなりに必要だとは思いますが、その結果を有効利用して計画に反映するという事を考えると、少</p>

岡山副会長	<p>し前倒しにした方が良いのではと思う。</p> <p>それから、生ごみの分析を考えると、あまり暑い時期になると、ごみを出している間に何が素だったのか分からなくなってしまい分析しづらいところもあるので、比較的涼しい時期の方が作業はしやすいと思う。</p> <p>「排出量原単位調査」は、可燃ごみや不燃ごみも含めて、品目ごとにどのくらい排出しているかを調査するものとなる。</p> <p>現行の処理計画策定時には、食品ロス自体がどれくらい出ているのかをもっと細かく知るために、食品廃棄物・生ごみをさらに細かく分類調査していただいた。今回もできるだけそれを踏襲していきたいと考えている。食品ロスは季節で大きく変動するので、予算的に難しいと思うが、できれば2回できたらよい。</p> <p>場所は浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設になるのか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設で実施する。ご意見を踏まえて実施していく形になると思うが、回数を増やすことができるかどうかは、まだ具体的な打ち合わせができていないため、明確な回答とはならないことをご承知いただきたい。</p>
石原委員	<p>小金井市の人口増減はどれくらいか。北口の開発も始まると思うがいかがか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>もともと想定していた人口増のペースより早くにピークを迎えている。12万人に到達するのが、昨年ぐらいの予想だったが、1年前倒しで12万人に到達しており、現在は若干横ばいとなっている。多摩の中でも突出して低かった高齢化率も、他の自治体並みになり始めている状況にある。</p> <p>もともと見込んでいた人口推計・社会動態よりも状況に変化が生じているということと、武蔵小金井駅南口地区や東小金井駅北口土地区画整理事業もひと段落ついてきて店舗の増加や撤退・移設など経済活動が活発になってきている中、北口の開発も始まることを含めた、まちづくりの動向の変化などもうまく捉えられると良いと考えている。</p>

渡辺会長	他に何かあるか。 それでは、以上をもって審議会を終了する。
------	----------------------------------